

スピーディーで開かれた市政

Administrative Services



■市役所の土日開庁

平日には来庁できない人も市役所1・2階の窓口で手続きができます。土・日曜とも開庁するのは、県内で初めてでした。



■情報公開コーナー

市が発行する刊行物や行政資料、パンフレットなどを誰でも自由に閲覧できます。

■あげお子ども議会

市内各小学校の代表児童が、市議会本会議と同じ形式で市の執行部に質問します。

市 政の運営に当たっては、スリム化と透明化に努め、スピーディーで開かれた行政を進めています。

市の総合的な構想・計画などを策定する際には、市民の意見を政策などに反映させる市民コメント制度を実施しています。また、『広報あげお』やホームページ「上尾市ウェブサイト」などのさまざまな広報活動により、市民に必要な情報をタイムリーに提供・公開しています。

さらに、市政に対する苦情を、公正・中立な立場で処理する市政相談委員制度や、ホームページからも意見を寄せられる「市長へのはがき」各課へのご質問」などを通して、広く市民の意見を集め、市政に反映させています。

Speedy administrative services

With regard to the business of administrating our city, we are currently striving to streamline our administration, increase our administrative transparency, and provide a speedy response to all administrative matters. We also hope to utilize the opinions of our citizens and employ audio-visual equipment in the dispersal of pertinent public information.



■平成15年8月
市民部・健康福祉部が
ISO9001を認証取得



■昭和64年1月
住民票・印鑑証明書の
電算作成開始

■平成3年11月
新市庁舎完成

■昭和53年7月
市の木・市の花・市民の木
を制定

■昭和60年8月
非核平和都市を宣言

■昭和63年7月
市民憲章を制定



■昭和33年7月
市制施行し上尾市が誕生

行政・市民参加のあゆみ



■平成8年11月
「あげお女性議会」開催

■平成11年2月
イメージマークの愛称が
「アッピー」に決定

■平成13年7月
「上尾市がさいたま市と合併することの可否を問う住民投票を実施」



■昭和41年7月
市章・市旗・市歌制定

■昭和41年11月
市庁舎落成

■昭和46年3月
上尾市総合振興計画制定

■昭和51年11月
第1回公聴会開催



市民との協働によるまちづくり

Civic Participation



市 民とのパートナーシップによるまちづくりは、地方自治に課せられたテーマです。そのためには、市民の積極的な参加とともに、その体制づくりが求められています。「まちづくりの主体は市民」という自治の原則を貫き、市民と行政との協働によって誇れる上尾市を築くために、市民参加のためのシステムづくりに取り組み、地域コミュニティやボランティア・NPO 団体などの活動に対し支援を行うなど、市民活動を積極的にサポートしています。

また、外国籍市民のための相談窓口の設置、民間交流の母体となる上尾市国際交流協会への支援などを通して、国際交流の推進にも努めています。

Cooperative efforts to make our city a more attractive place to live

The basis of self-government is that "citizens should play a central role in community renovation". Ageo actively supports the establishment of systems and civic activities based upon the participation of local citizens. Ageo also actively supports international exchange activities.

■市民協働事業

市制施行50周年記念として、市民と行政との協働によるさまざまな催しが開かれました。



■ボランティアフェスティバル

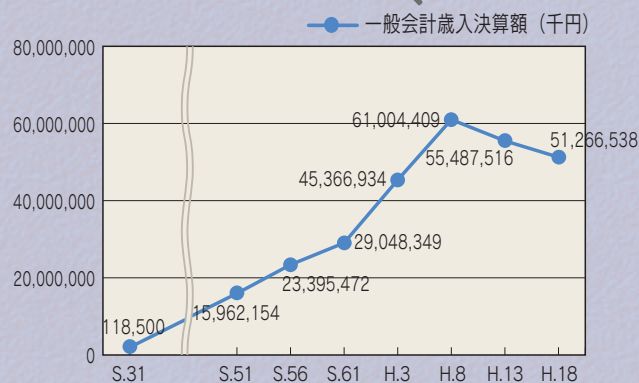
市内のボランティアが、互いの知識や経験を分かち合い、生かし合うイベントです。



■あげおワールドフェア

外国籍市民が主役になって、自国の文化を紹介する国際交流イベントです。

データで見る50年 [一般会計歳入決算額]



50年間で市の財政規模は、なんと約433倍になりました。約6倍になった人口や物価の上昇率を勘案しても、市の財政がいかに大きくなってきたかがわかります。

平成16年1月
市役所本庁舎の土曜開庁スタート



平成20年7月
市制施行50周年



子育て世代への支援

Support for Child Care

安 心して子どもを産み育てることのできる環境を整えることは、行政の重要課題です。

市では、市民の子育てを支援するため、乳幼児相談センターや子育て支援センターを拠点として、悩みや不安を抱える保護者への相談や情報提供、市民の交流事業を推進しています。

また、児童の健やかな成長のために、段階に応じた乳幼児健診や健康相談、予防接種などを行っています。

さらに、仕事や病気で保育ができない保護者のために保育所が26カ所、民間の家庭保育室が14カ所あり、多様な保育需要に対応しています。昼間保護者のいない小学生のためには、学童保育所や放課後児童クラブもあります。



Support for those raising children

In order to support citizens raising children, the city offers consultations and information services to parents and guardians, and it also promotes civic exchange. Regular health check-ups are available for babies and toddlers. Nursery schools and after-school clubs are also available as the city responds with a wide range of childrearing services.

■ 保育所の充実

多様化する保育需要に合わせて保育の質の向上に努めています。



■ 乳幼児健診

医師が乳幼児の健康を診査し、保健師などが発達の段階に応じたアドバイスを行います。



■ ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントする事業を、平成20年から開始しました。

- 平成6年9月
中学生海外派遣研修の導入
- 平成10年10月
小学校全校にパソコン導入
- 平成11年11月
自然学習館が開館
- 平成12年5月
児童館「アッピーランド」オープン

上尾市民体育館落成祝賀式



- 昭和55年5月
市民体育館開館
- 昭和51年10月
小・中学校の体育施設を開放
- 昭和51年5月
スポーツ都市宣言

- 昭和43年8月
図書館開館



- 昭和33年11月
第1回市民運動会開催

子育て支援・教育・文化のあゆみ



- 昭和62年10月
「生涯学習フェア・イン あげち」を開催
- 昭和63年11月
第1回上尾シティマラソンを開催



- 昭和42年10月
埼玉国体開催

次代を担う力の育成

Education for children



■小学校

子どもたちの健全な育成のために、教育環境の整備にも努めます。



■中学校

確かな学力と豊かな人間性を育むため、一人一人の個性に応じた教育を行います。



■児童館

設備の充実した児童館は、子どもたちの安全な遊び場として人気です。

次 代の上尾市を担う人づくりは、社会全体の重要な課題です。青少年の健全育成のために、学校・家庭・地域が連携した教育体制づくりをはじめとして、総合的な施策を進めていきます。教育内容は、国際化、情報化、環境問題、人権問題などにも焦点を当て、社会の変化に的確に対応できる児童・生徒を育成する教育の充実や、豊かな人間性をはぐくみ、一人一人の個性を尊重した教育を進めます。

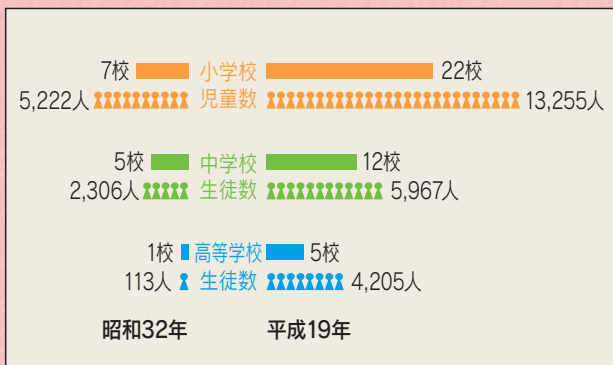
また、適正な学校規模に配慮し、通学区の見直しを図るとともに、全中学校に防犯パトロール車を配備するなど、安全確保に努めています。

さらに、教育環境の向上を目指し、小・中学校の校舎の耐震補強・改修も進めています。

Bearing the burden of nurturing our children for future generations

Through the collaboration among our schools, homes and neighborhoods, we are creating a system of education and promoting comprehensive measures and policies. The city promotes precise responses that enable us to raise our children through the enhancement of education, to nurture human warmth and to value the character of each and every individual. We also strive to improve our security and educational environment.

データで見る50年 [学校数・児童生徒数]



学校数・児童生徒数とも50年間で約3倍。人口の伸びの半分というのは近年の少子化の影響でしょうか。高等学校は、50年前には県立浦和高校上尾分校だけでした。

■平成18年10月
児童館「こどもの城」オープン

■平成14年4月
30人程度学級「あけおっ子アッピーマン」の実施

